

別記

審議概要

1 公開案件の審議

(1) 報告1 北海道立近代美術館リニューアル基本構想（中間報告）素案について

ア 説明員 山上生涯学習推進局長兼文化財・博物館課担当課長

イ 結論 報告を了承

ウ 審議内容

【山上生涯学習推進局長兼文化財・博物館課担当課長】

北海道立近代美術館リニューアル基本構想（中間報告）素案について、説明します。資料は概要版を御覧いただきたいと思います。

まず、1の「はじめに」ですが、近代美術館は、昭和52年（1977年）にオープンし、本道の美術文化の振興を担い、広く道民に親しまれてきましたが、施設の老朽化や美術館を取り巻く状況が大きく変化していることから、昨年1月に有識者で構成する「これからの北海道立近代美術館検討会議」を設置し、これまでの活動の検証や今後求められる使命や役割など、道民の皆さんの御意見を伺いながら、近代美術館の在り方を整理し、中間報告をまとめました。

次に、2の「検討の背景」に関し、国や世界の動向ですが、昨年の博物館法改正や、ICOMによる博物館に関する定義の改正において、博物館はこれまで果たしてきた基本的な役割以外にも、文化拠点として、国民生活に欠くことのできない施設であると位置付けられました。

次に、3の「現状と課題」ですが、博物館法に定める美術館の基本的な役割や機能を中心に、これまでの美術館活動を検証し、六つの項目に整理しました。例を挙げますと、2の「調査研究」では、研究環境の充実や、研究成果などを公開・発信するための、デジタル技術を活用したアーカイブの構築といった課題が見られたほか、4の「教育普及事業」では、ICTの活用、自由に利活用できるエリアや、子供が学べる場所の充実といった課題が見られました。

続いて、裏面を御覧ください。4の「目指す姿」ですが、有識者の

ほか、美術館を利用する方や、美術館と関係のある団体など、様々な方からこれまでの活動に対する評価や期待することなどを伺いながら、求められる使命や役割などを、「ビジョン」、「ミッション」、「コンセプト」としてまとめました。

「ビジョン」では、誰もがアートの持つ豊かさを享受することで、多様な人々が互いを受け入れ生かし合う、創造性と活力にあふれる社会の実現を目指すこととし、「ビジョン」を実現するための使命や役割を「ミッション」としてまとめ、「ミッション」を実現するための取組を「コンセプト」としてまとめました。

次に、5の「施設整備の基本的な考え方」ですが、目指す姿を実現するため、施設整備の基本的な考え方を六つの項目に整理し、括弧内に整備例を記載しています。例を挙げますと、3の「時代の進展にあわせたデジタル技術の活用」については、誰にでも、いつでも、どこにいても、鑑賞や学ぶ機会を提供できるデジタル技術の活用やアーカイブ化への対応などが考えられるほか、4の「誰もが気軽に利用でき、学ぶことができる開かれた場所」については、年齢や性別、国籍などにとらわれず、誰もが利用しやすい施設整備などのユニバーサルデザイン化や、幅広い用途に対応可能な多機能ルームの設置などが考えられます。

次に、6の「今後の進め方」ですが、施設の整備方法については、目指す姿や施設整備の基本的な考え方を踏まえ、道民の皆様から御意見を伺いながら、基本構想の策定に向け、検討を進めてまいります。

最後に、今後の予定ですが、この後、教育委員の皆様から御意見をいただき、北海道議会第1回定例会閉会后に、パブリックコメントを行った後、提案に向けて取り組んでまいります。

説明は以上です。

【倉本教育長】

御質問や御意見はありませんか。

【青山委員】

2点ありますが、50年前と比べて大分想定よりも多い作品が集まっ

て、今のような状況になったのかなと思いますので、想定外を見越した管理、場所の確保と、やはり、駐車場がないという声が昔から聞かれていたと思うので、道の財源になるような駐車場の仕組みも、考えていった方が良いのかなと思います。

もう1点は、別の角度からなのですが、子供たちのボランティア活動の場としても提供を考えていただきたいと思っていて、子供も大人も親しめる美術館というコンセプトだとは思いますが、今は、子供が活動できるような場所ではないんですよね。子供にもっと親しんでもらえるように子供ボランティアを設けてみて、学芸員とはいかないまでも、学芸員見習いのように、子供たちにプレゼンの機会等を与えていただきたいなと思います。

【山上生涯学習推進局長兼文化財・博物館課担当課長】

駐車場の整備ですとか、収蔵品の関係ですとか、利用者からいろいろな声をお伺いした中でも、様々なお話が出ていましたので、今後の検討に含めていきたいと思います。

【川端委員】

近美の収蔵や改築についていろいろな意見を集約をされていると思いますが、私たちが関係しているところで言うと、江別にある図書館とか、博物館とかも既に収蔵するところがいっぱいであるという現実があります。

今の場所は森があって良いと道民からの意見も出ていましたが、見る場所と収蔵する場所について、もう少しいろいろな案を考えると良いと思います。例えば、物が物なので移動にお金がかかってしましますが、収蔵する場所だけを郊外に置いて、入れ替える美術品だけを美術館に持って来るといったのはいかがでしょうか。

本当に増えていくことしかあり得ない美術品を、50年と言わず、長期に収蔵していくわけですから、目先だけを見てこのスペースで足りると言えるものではないことを考えると、郊外の場所を活用していく案も考えていただくと良いのかなと思いますし、全体を見通して、収蔵する場所、見せる場所、子供たちが美術と触れ合う場所という観

点も考えていただけると、解決策が生まれてくるのかなと思っています。

もちろん、駐車スペースの確保もそうですが、館内のスペースについても、静かに見なければならぬ美術館に小さい子を連れて行くのはどうなのかと、ためらうお母さん方がたくさんいるので、子供が声を出して見られるゾーンなどを取り入れていくと、より良い形が見いだせるのかなと思います。

収蔵スペースについては、全体を見据えて、大量かつ安全に保管できる場所も念頭に置かれてはいかがでしょうかという感想と意見でした。

【山上生涯学習推進局長兼文化財・博物館課担当課長】

収蔵品のことについては、他の施設でもそうですが、最初は余裕があっても、だんだん足りなくなるという話は聞きますので、そういった先々のことを考えつつ、面積についてはまだ先になりますが、少し幅広く検討していきたいと考えています。

【大鐘委員】

感想と意見を述べさせていただきます。まず、全体的な感想としては、進め方が大変丁寧で慎重で道民の方の意見を広く吸収しながら、進めようとされていることが伝わってきて良いなと思います。特に、概要版の裏面ですけれど、6番に今後の進め方ということで、基本構想の策定後、基本計画の策定に移るのですが、この辺の道筋がしっかり示されていて、非常に良い形で進められると期待しています。

それからもう一つ、意見ですが、概要版の1枚目の「はじめに」のところで書かれてあります、近代美術館は北海道の中核的美術館である、それから、②の検討の背景の北海道教育推進計画の最初に、道内の美術館等が文化発信・交流の拠点としてネットワークでつながり、というところがあります。ここに注目すると、近代美術館の中心的な機能ではないかもしれませんが、今回の近代美術館のリニューアルによって、ちょっと膨らんでしまうかもしれませんが、地方にある美術館・博物館の活性化ということが付随して波及的に実現されれば、す

ばらしいかなと個人的には思います。

【山上生涯学習推進局長兼文化財・博物館課担当課長】

非常に大切な部分だと我々も考えていますので、今後、検討の中でそういったことも、いろいろ考えさせていただきたいなと思います。

【清水委員】

私が気になるのは、作品の保存状態です。やはり、文化的に大変貴重な作品だと思いますので、きちんと保管したいですし、作品の収蔵スペース、収蔵環境が適切な状態で作品が保全されるということが最も重要かなと思います。スペースが確保できないと、これからの収集計画にも影響してしまうと思います。

せっかくのすばらしい作品を後世にも保存していきたいというのは道民全体の関心だと思いますので、なかなか難しい問題ではあると思いますが、本件は、近美についてのリニューアルの基本構想ということでありますけれど、北海道全体の文化遺産をどう保全していくのかという観点から、これにとどまらず、収蔵という観点、作品の修復も同じだと思いますが、貴重な文化遺産を保全するという観点から引き続き御検討いただければと思います。

【山上生涯学習推進局長兼文化財・博物館課担当課長】

大切な作品をお預かりしていますので、万全を期するよう検討したいと思います。

【倉本教育長】

ほかに御質問や御意見はありませんか。

《委員から質問・意見なし》

【倉本教育長】

それでは、以上で本件の審議を終わり、報告を了承します。